

網走ほんりゅう

第397号
網走教職員組合
〒090-0836
北海道北見市東三輪83-35
TEL.0157(31)7551
FAX 0157(31)7559
4月16日

子どもは本物の学力は

学力 豊かで奥が深い時

今年も、また、「全国学力・学習状況調査」(以下、全国一斉学力テスト)が、四月二十四日、全国一斉に実施されます。今まで私たちは、この「基礎・基本の定着」を図ればテストの点数が上がるはずという思い込みで、学力テストという狭い振り回され、学力テストという狭いものさしでしか子ども達の学力を評価しない道教委の姿がそこにはあります。このチラシから、これまでの道教委の取り組みの破綻が見えてきます。プリント学習による詰め込みで子どもたちの学力向上をはかることの行き詰まりです。そして、学力向上のためにとうとう徹まで飛ばすのですから、異常事態です。

高橋知事は、平成二六年までに北海道の子ども達の学力を全国平均まで引き上げると公言しました。そして、これまで、チャレンジテストをはじめ、「学力向上トリプルUP!事業」「まなび環境づくりプロジェクト事業」など、様々な取り組みが行われてきました。そして、今年度は、「テストの点数だけで人の価値なんて決まらない。でも、くやししいじゃないか!」

2013年度組合費納入について

昨年度は、支部会計さんや組合員の皆様のご協力により、組合費徴収をスムーズに行うことができました。ありがとうございました。

今年度も、4月の給料明細が届きましたら、組合費の計算をしていただき、本場で送金いただきますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

3月に行われた定期大会で、「体調を崩して支部会議に参加できない組合員も組合費を納入できる方法を検討してほしい」という意見が出されました。執行部で検討し、**支部会議に参加できない方には、支部内で連絡を取っていただき、個別納入を希望する場合は、支部会計担当者から本部に連絡するという形を取らせていただくことになりました。**

つながりを作る、そしてつながりを強くする取り組みの一つとして、組合費の納入についても取り組んでいただきますよう、よろしくお願いいたします。

- 「学校づくりのための申し入れ」書
- 4月中旬に校長との話し合いを行います。
- アンケート調査について、いずれも四月三十日まで、本部に提出。
- 状況報告書(各個人の連絡先などの基本状況)
- 卒業生入学式、校内人事についてのアンケート
- 勤務実態調査の処分に關するアンケート
- 組織拡大について
- 新採用者への取り組み、新採用者「ようこそあべしり」への取り組みなどの資料を渡しましょう。
- 第一回「まなび」について
- 日時：五月一日(土)九時半～一二時
- ※午後から支部代表者会議
- 場所：北見小学校
- 内容：学級づくりの交流
- 各種名簿の整理
- 公務員労働者の賃下げ撤回を求める署名
- 米軍輸送機オスプレイの配備撤回・低空飛行訓練の中止
- 障害児学校の「設置基準」策定を求める署名
- 憲法を改悪せず、第9条を守りぬくことを求める署名

各職場・支部での取り組みを

平成25年度 全国学力・学習状況調査

期日：平成25年4月24日(水)
対象：全国の小学6年生・中学3年生
教科：国語、算数・数学

北海道の子どもの結果は、5年連続で全国最低レベルです。いつも上位にいる秋田県と比較すると...

北海道の子どもの結果は、家庭学習が十分でない傾向がみられます。

- 子に比べて長時間、ゲームをする
- 家で勉強の習慣がない
- 家で全く勉強しない子どもが多い

テストの結果だけで人の価値なんて決まらない。でも、くやししいじゃないか! 子どもの本気を!! 道産子の本気を!!

保護者の皆様へ
次の点を御覧にお子さんへ声をかけてあげませんか?

- 家庭学習の習慣を身につけ、毎日勉強させる。
- 勉強の習慣を身につけ、毎日勉強させる。
- 勉強の習慣を身につけ、毎日勉強させる。

北海道教育委員会

今こそ! 君の本気を!

みなさんは知っていますか? 北海道の子どもの学力を調査する「全国最低レベル」

みなさんは知っていますか? 北海道の子どもの学力を調査する「全国最低レベル」

この結果を見て、怖くないだろうか? 北海道の子どもの学力が本当の底にあるのか? 今こそ見よう! 道産子の本気を!!

平成25年度全国学力・学習状況調査

期日：平成25年4月24日(水) 対象：小学6年生・中学3年生 教科：国語、算数・数学

- 家庭学習の習慣を身につけ、毎日勉強させる。
- 勉強の習慣を身につけ、毎日勉強させる。
- 勉強の習慣を身につけ、毎日勉強させる。

北海道教育委員会

このチラシは、道教委のHPに掲載されています。

「次の学びにつなげていく力」(学びの応用力)などがあり、本物の学力は、豊かで奥が深いものなのです。

今年度、道教委は、各教育局・地教委に対して、「全国学力・学習調査に対する取り組み」という通知を出し、各学校長に対して、道教委の考えを徹底させようとしています。学力テストという狭いものさしで子ども達を評価する考え方を押しつけようとしています。

今、大切なことは、全国一斉学力テストに振り回されて狭い学力を子ども達に押しつけるのではなく、本物の学力を子ども達に身につけさせることです。

そのためには、「学校づくりの申し入れ書」の取り組みが重要です。申し入れ書には、「子ども達の学力を伸ばしていきましょう」という項目があります。今こそ、私たちが考える子ども達につけた本物の学力について、学校長と十分に話し合い、具体的な形になるようにしていきたいものです。そして、「申し入れ書」を土台にして、子ども達の学力について、私たちから発信していく必要があります。